

多摩区内小学校



第1回 稲田小学校

今回より多摩区の小学校めぐりを行います。第1回目は稲田小学校で山田校長先生を訪問しました。

稲田小学校は明治12年（1879）開校の138年もの長い歴史をもち、児童数も850人ほど。最近では大きな方の小学校です。川崎市立中央支援学校（※）の分教室を併設した小学校として、川崎市内2校のうちのひとつです。分教室の子どもたちとともに相互に仲良く学び、遊んでいます。

「子どもが主役の学校」づくりを進めており、子どもたちが中心となり自主的に運営するさまざまな委員会を通じて、誰もが認めあい、ともに成長しようとする人間関係づくりを実践しています。また地域

との協力や連携を重視したさまざまな活動に取り組んでいます。そのひとつが、毎年地元の多摩川音頭保存会の皆さんによる4年生への「多摩川音頭（鮎鷹おどり）」の指導です。運動会では、全校児童と保存会の皆さんにより「多摩川音頭」を踊っています。40年以上、地域とのつながりを大切に育んで育んでいます。

創立140周年の平成31年（2019）に向け、子どもたちが笑顔で輝き、地域とともに歩む学校をめざしていきたいと校長先生は語っておられました。

（※）重複の障害を持つ子どもたちの学校で本校（高津区）のほか市内に2つの分教室（稲田・大戸）があります。



稲田小学校校舎



稲田子ども部会の相撲大会



多摩川音頭を踊る運動会のようす

たま今昔

区制が敷かれてから40年以上を経た多摩区の昔の姿を探ります

その19 菅の渡し



菅の渡し風景 ※稲田郷土史会提供

南武線稲田堤駅から多摩川に向かって徒歩約10分、沿線道路を渡り河川敷に下りると野草の緑と水面が辺り一面風光明媚な美しさでおわれています。ここに多摩川最後の渡し船「菅の渡し」がありました。

その昔、江戸時代、菅の農民が北岸の調布の畑に通う足「作場渡」がはじまりで、渡賃は人や馬、あるいは増水の多少によって増減徴収されていたそうです。時代や川の流れの変動により渡し場が下流に移行されるなど変化はありましたが、昭和初期、多摩川原橋が架橋されるまで大いに活躍しました。その後、京王相模原線が開通（京王稲田堤駅から京王多摩川駅）し、利用者の減少に伴い、昭和48年に全て廃止されました。（付近には、稲田堤公園や市民果樹園があります。）

〔文：小澤〕

編集後記

都内から多摩区へ転居して6年近くになります。以前は空を見上げることがなかったのですが、自然にも恵まれた多摩区のことをもっと知りたいと思うこの頃です。 (森)

■まち協のホームページ <http://tamaku-machikyo.com/>

多摩区まちづくり協議会へのご意見、ご質問、プロジェクトへの参加申し込みはこちらへお願いします。

【事務局】〒214-8570
多摩区役所地域振興課まちづくり推進係
電話 935-3148 FAX 935-3391
メール 71tisin@city.kawasaki.jp



多摩区まちづくり協議会は、区民の自主的なまちづくり活動組織です。区民が取り組む地域活動を、年4回発行でお知らせしています。

私たちのまちづくり

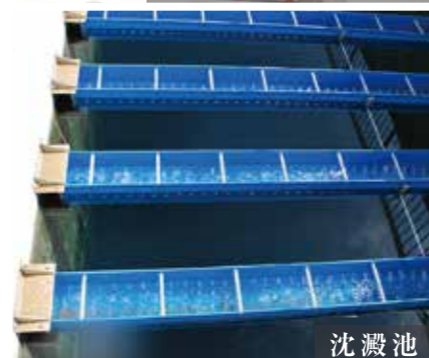
多摩区まちづくり協議会 NEWS

2017年
(平成29年)9月

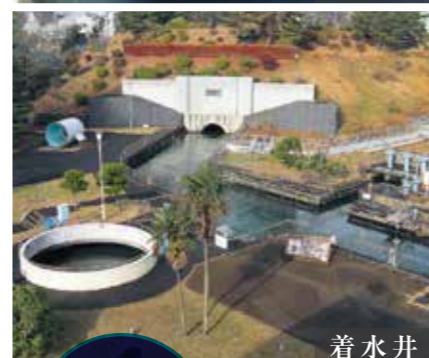
57号



水とかがやく未来館



沈澱池



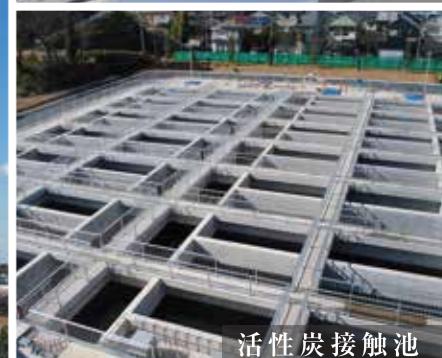
着水井



浄水場全景



ろ過池



活性炭接触池



太陽光発電

多摩の風景 「水とかがやく未来館」オープン!

(長沢浄水場広報施設)

〔記事：森 写真：川崎市上下水道局〕

長沢浄水場は相模川を水源とする川崎市上下水道局の浄水場で、昭和29年に通水を開始し市内に供給される水道水、工業用水道水を処理・供給しています。隣接して東京都水道局長沢浄水場があり、当浄水場の着水井から分水をしています。

市域拡大や水需要増大に併せて数次の拡張をしてきましたが、平成18年度から開始した「川崎市水道事業及び工業用水道事業の再構築計画」による新施設の工事も昨年3月に完成し、平成28年度から全ての運用を開始しています。

これにより、より環境に優しく、より災害に強い浄水場となり、活性炭接触池（国内最大級の活性炭注入）の整備・ろ過池カバーの設置によって、より安全でおいしい水を市内全域に供給ができる浄水場となりました。

平成29年6月、広報施設として「水とかがやく未来館」が開場しました。川崎の水について、小学4年生から大人までどの年代にも分かりやすく楽しい説明を受けながら、実際に敷地内施設の見学ができます。

※入館無料・事前予約制・休館日：火曜、土日・祝日、年末年始

多摩区まちづくり協議会 まちづくり TOPICS

多摩区まちづくり協議会が内外で行っている
さまざまな活動の紹介や、身近なまちの情報
などを、トピックス仕立てでお届けします！

【まち協ホームページ】
<http://tamaku-machikyo.com/>

「第40回多摩区民祭・出張たまサロン」「たまサロン」開催！

記事 児井

区内最大のイベント、多摩区民祭は今年で40回目を迎えます！岡本太郎美術館、日本民家園、かわさき宙（そら）と緑の科学館など文化教育施設がある自然豊かな会場で、区民・団体による出店・展示ブースが並びます（昨年実績80店舗）。区内の団体が出演する音楽やダンスの舞台ステージ（昨年実績23演目）、オープニングパレード、記念品が当たる抽選会、パラスポーツ体験や乗車体験アトラクションなどご家族で楽しめる催しが盛りだくさんです。

また、当日は当協議会も出展し、さまざまな活動を知っていただくとともに、「出張たまサロン」として来場者が考える地域の課題について意見交換を行いたいと考えてお

りますので、ぜひお立ち寄りください。ここでいただいた意見を踏まえて12月に開催する「たまサロン」でさらに掘り下げた意見交換会を行い、自分たちで何ができるかを模索します。こちらでもぜひご参加ください。

【第40回多摩区民祭・出張たまサロン】

【日時】11月18日（土）午前9時半～午後3時
（雨天実施、ただし荒天時は中止）

【場所】生田緑地中央広場周辺

【たまサロン】

【日時】12月3日（日）午後2時～4時

【場所】多摩区総合庁舎 11階会議室



出張たまサロン

聞こえないってどういうこと？～親子で手話体験～

記事 古川

聴覚障害者の「聞こえないとはどんなことなのか？」「手話の豆知識」などを学ぶ「福祉教育親子参加講座」の募集をしています。小学校では4年生で福祉教育を学びます。子どもたちがどんな事を学んでいるのか、この機会に親子で参加しませんか？

【日時】9月30日（土）午前9時半～11時半

【場所】多摩市民館4階第1会議室

【募集】小学生と保護者 30名

【申込締切】9月25日（月）（必着）

【主催】多摩区社会福祉協議会

【電話】044-935-5500



楽しく学ぶ子どもたち

プロジェクト

エコショッピング・クッキングでエコの勉強

記事 本多

8月19日（土）、区役所で採れたゴーヤや畑で収穫したナスが入ったカレーライス、モロヘイヤのおひたしなどでエコショッピング・クッキング講座を開きました。食材は余さず使う、片づけは布切れで拭き取って重曹で洗うなどエコの勉強もしました。4回も参加している女の子のお母さんは「畑から無農薬の野菜を自分で取って料理ができる機会は、子どもにとって本当に貴重です」と話されていました。



みんなでお料理！



自分でナスを取った！

プロジェクト

お祭りを楽しもう！つながろう！

記事 正野

10月14日（土）（雨天順延）、中野島中央公園にて「緑日」を開催します。子どもの外遊びが行われる場所で、色々な団体や個人が協力しあって開催するお祭りです。子どもはもちろん、大人も楽しんでいただけるよう、話し合いを重ねています。新しい出会い、発見、つながりを見つけに、お越しください。

11月5日（日）には、東名塚第2公園にて開催される「たまこみまつり」に参加予定です。こちらもぜひお楽しみに！



昨年実施した「緑日」の様子

川崎市の「地域包括ケアシステム」ってどんなもの？

記事 加藤

世間一般的には、高齢者のための行政サービスというイメージの地域包括ケアシステム。

今回お話を伺った多摩区地域みまもり支援センターによりますと、川崎市では子どもから高齢者まで地域で生活する全ての世代を対象に、安全・安心に暮らせるまちづくりを目指しているそうです。そのためにはまず、住民の方1人1人が当事者であるという認識を持ってもらえるよう尽力していきたいとのこと。

では、どのような実践が地域包括ケアになるのでしょうか？例えば、子どもの登下校時の見守りです。安全への配慮も然りですが、子どもたちへの声かけが大事だそうです。見守られながら育った子ども達は、大きくなって習

慣としてあいさつをする人へと成長します。日々の暮らしの中で、多くの人とつながりを持つことは、大人にとっても子どもにとってもかけがえのない財産になります。

他にも日常の中で行える地域包括ケアはたくさんあります。あなたの身の回りできそうな実践、はじめてみてはいかがでしょうか。



登下校時の子どもたちの見守りも地域包括ケア！

今年度も「多摩★まちCafe」「多摩★まち大学」を開催します！

記事 近藤



多摩★まち大学の様子

今年度、研修企画部に新メンバー3名（総勢15名）が加わり、4月から区民・活動団体との情報交換や交流の場である「多摩★まちCafe」や、学びの場を提供するための「多摩★まち大学」について、チーム毎による分科会を重ね、10/31（火）「地域の寺子屋を知ろう」と11/14（火）「こんな支え合い活動を始めました」を開催する運びとなりました。今、この2つの「多摩★まちCafe」開催に向けて、参加団体と内容確認などを行っています。また、「多摩★まち大学」では、他都市の市民活動事例を学ぶ視察研修会や、

活動資金の調達に苦勞している団体向けに講座を設ける予定です。

メンバー全員が多摩区の市民活動を盛り上げるため価値ある場作りを目指していますので、皆様お誘いの上ご参加ください！なお、日程や内容などの詳細に関しては、今後当協議会ホームページなどにて案内させていただきますのでご参照ください。

多摩区まちづくり協議会 検索



多摩★まちCafeの様子

ニヶ領上河原堰、調布“秋”花火2017

記事 藤田



隣りまちに上がる花火

ニヶ領上河原堰中洲周辺で開催される調布の花火、稲田堤から中野島にかけて、毎年夏、大勢の区民が多摩川の堤を埋めて楽しんでまいりましたが、今年は調布駅前再開発に合わせて、秋に開催されることになりました。総観客数は30万人と言われるそうです。多摩区側から楽しませていただければ幸いです。

【日時】10月28日（土）：17時～18時半

【詳細】<http://hanabi.csa.gr.jp/>

区内のイベント情報（10月～12月）

- ◆多摩区食の祭典
10/15（日）9時～ @生田緑地中央広場周辺
 - ◆たまアトリウムコンサート
10/18（水）正午 @多摩区役所1階アトリウム
 - ◆稲城市・多摩区連携ウォーキング
10/29（日）8時15分～受付開始（9時出発）
（※雨天の場合、11/5に延期）
@宿河原八幡神社（※生田緑地中心のコース）
 - ◆ピクニックマルシェ
11/12（日）10時～ @生田緑地西口広場
 - ◆第5回多摩川秋の収穫祭
11/19（日）11時～ @ニヶ領せせらぎ館前広場
 - ◆第7回たま音楽祭
12/9（土）13時～ @多摩市民館2階ホール他
- ※ イベントの内容は変更になる場合があります。